

第1回 篠岡地区の学校を考える会委員 議事要旨

日 時	令和7年5月10日（土） 14時 ～ 15時15分
場 所	小牧市東部市民センター 講堂
出席者	【委員】 別紙（委員名簿）のとおり 【事務局】 中川 宣芳 教育長 矢本 博士 教育部長 岩本 淳 教育部次長 丸藤 卓也 教育総務課長 瀬尾 宗利 学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹 長屋 孔之 教育総務課学校再編推進係長 丹羽 勇人 教育総務課学校再編推進係主査 稲垣 翔太 教育総務課学校再編推進係主任
欠席者	福田委員
傍聴者	72名
配布資料	資料1 篠岡地区の学校を考える会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 篠岡地区における学校教育を取り巻く課題について

内 容

1 開会 2 会議の公開 教育部次長より本審議会は公開とする旨を説明 3 委員委嘱 事務局より任命書および委嘱状を交付 4 教育長あいさつ 【中川教育長】 ・本日はお忙しい中、篠岡地区の学校を考える会にお集まりいただき、ありがとうございます。 ・子どもたちや学校を取り巻く課題が多様化・複雑化していく中、小牧市教育委員会では日々、子どもたちの成長を支える学校づくりを行うとともに、ネットリテラシー教育や夏季の酷暑対策としての学校体育館への空調整備など、新たな課題への対応にも取り組

んでいる。

- ・そうした中、最も大きな課題として捉えているのが、児童生徒数の減少とそれに伴う学校再編であり、この3年間で約1,000人、小規模な学校で3校分の児童生徒数が減少した状況にある。
- ・この児童生徒数の減少傾向は、今後も続くと思われており、一部の学校では児童生徒数の減少が学校行事や部活動など、子どもたちの学ぶ場や活動する機会の保障に大きな影響を与える可能性を危惧している。
- ・本日の篠岡地区の学校を考える会では、皆様と篠岡地区の課題を共有し、将来を展望した学校のあり方について、忌憚のないご意見をいただくことで、今後のより良い学校づくりへと結び付けていきたいと考えているので、よろしくお願いします。

5 会長・副会長選出

森川委員より小柳委員を会長に、中林委員より塚本委員を副会長にそれぞれ推薦され、委員全員の同意を得て、小柳会長と塚本副会長が選出

【会長】

- ・私自身は極めて微力だが、副会長をはじめ、委員の皆様の力をお借りして、何とかこの役を務めあげたいと思っている。
- ・全国的に少子高齢化が進み、既に少子化に伴う学校再編等が行われている地域もあると認識しており、そうした中で、次代を担う子どもたちのため、皆さんの広い見地から議論を重ね、この篠岡地区における学校のあり方について、一定の方向性を出していきたいと考えているので、ご協力をお願いします。

6 議題

(1) 篠岡地区における学校教育を取り巻く課題

事務局より資料3に基づき、説明を行い、以下のような質疑応答等を実施

【委員】

- ・学校再編にあたり、小中一貫教育の検討はされないのか。
- ・小中一貫校などにすることによって、運動会などの学校行事の盛り上がりや子どもたち学びの深化、先生方の事務の簡略化にもつながると思う。

【事務局】

- ・「新たな学校づくり推進計画」の中においても小中一貫教育については今後検討を進めることとしており、子どもたちにより良い環境と質の高い学校教育を提供し、義務教育9年間の学びと育ちをさらに繋いでいくため、今後、小中一貫教育の効果や課題をしっかりと検証し、導入を検討したいと考えている。

【委員】

- ・再編を「段階的に進める」という説明であったと思うが、具体的にはどのように進めるのかイメージはあるのか。
- ・当事者である子どもたちのことを考えれば、何度も何度も再編を行うというのは負担になると思っている。

【事務局】

- ・基本的には児童生徒数の推移を見ながら判断することを考えているが、ご指摘の通り、何度も再編を行うことは、子どもたちは元より、保護者や学校現場の先生方への負担にもなると考えており、本日の意見も参考に次回以降の考える会の中でお示ししてまいりたい。

【委員】

- ・学校施設の老朽化の説明の中で篠岡小学校、篠岡中学校の老朽化が抜きこんで進んでいるという説明であった。
- ・地元では最終的には篠岡小・中を立て直して、1小1中になるということでは、というような話も実しやかにされているが、事務局として、現時点での考えがあれば教えてほしい。

【事務局】

- ・現時点では具体的な再編計画が決まっていないため、再編の時期や学校などはお示しできないが、既に1学年1学級の学校が複数あり、また今後、さらに増えていくような状況にあって、子どもたちの教育環境改善のため、できるだけ速やかに学校再編を進めていく必要があると考えている。
- ・次回以降の考える会の中で具体的な再編計画の案をお示ししたい。

【委員】

- ・耐用年数に比較的、余裕のある学校もある中、学校再編を考えるにあたり、既存の校舎を活用していくのか、新しい学校を建てていくのか、市としての考えをお聞かせ願いたい。

【事務局】

- ・1日でも早く教育環境の改善を図っていく必要がある中、既存校舎の活用というのは当然、選択肢の1つとして考えられるが、このことについても次回以降の考える会の中で市の考え方をお示ししてまいりたい。

【委員】

- ・学校再編というものは今後、絶対に必要なものであると思っているが、何よりもスピード感を持って進めていただきたいと考えている。

【事務局】

- ・1日でも早い子どもたちの教育環境の改善のため、学校再編について、速やかに検討、取り組みを進めてまいりたい。

【委員】

- ・資料12ページのアンケート結果について、特に高齢の方の反対意見が多いように見受けるが、この理由などについて、事務局で何か把握されているか。

【事務局】

- ・現時点では、個別の理由等を把握しているわけではないが、今後、反対の理由などもしっかりと把握しながら、再編を進めていくうえで丁寧な説明が必要であると考えている。

【委員】

- ・学校用地について、新たに取得して建てるのか、既存の校舎の位置に建て直すのかを教えてください。

【事務局】

- ・先ほどもお答えした通り、現時点では再編計画が決まっていないため、具体的なことはお示しできない。
- ・しかしながら、資料にもあるように、年々、建設費が高騰しており、計画的に建て替えを検討していく必要がある中、既存校舎や敷地の活用も選択肢の1つと考えている。

【委員】

- ・今後ますます、児童生徒が減っていくということだが、それは篠岡地区固有の課題等によるものであって、その課題を解決すれば、児童生徒も維持・増加に転じていくとは考えられないか。

【事務局】

- ・人口減少やこれに伴う諸課題は、本市だけでなく、我が国全体の人口構造的な問題であると考えている。
- ・市としては、これまでも子ども子育てに関する様々な施策を重点的・総合的に推進してきたが、現実的には人口増加ということは見込み難いことから、目の前の子どもたちの教育環境の改善のため、学校再編は必要なことだと考えている。

【委員】

- ・児童館や児童クラブ等についても、この会議の中で考えていくのか。

【事務局】

- ・児童館や児童クラブに関するご懸念については、学校再編に並行して検討を進めており、今後、具体的に学校再編の話し合いの中で、一定の方向性が定まってくる中で、各担当部署から対応が示されるものと考えている。

【委員】

- ・対応はこの会議の中で示されるのか。

【事務局】

- ・「学校を考える会」はあくまで学校再編を議論する場であるため、頂いたご意見を各担当部署と共有したうえで、別途、担当部署から対応をお示めしすることになる。

【委員】

- ・説明をお聞きし、自分が思っていたよりも喫緊の課題であるということが分かった。
- ・ただ単に学校を再編する、まとめるというだけでなく、最終的なゴールとして、先ほどの質問にあった小中一貫教育のことなども含め、夢のある学校づくりのプランをお示しいただきたい。
- ・新しい学校、新しい教育ができるチャンスでもあるため、他市町の取り組みや事例なども参考にしながら、この篠岡地区の学校がさらに素晴らしいものになればと思う。

【委員】

- ・篠岡小学校、篠岡中学校の耐用年数が近いということだが、これが第一優先ということであれば、篠岡小・中を建て替えて、ここに統合ということなのか。

【事務局】

- ・繰り返して恐縮だが、今後、具体的な学校再編が決まっていく中で、具体的な時期や学校をお示ししていきたいと考えている。

【委員】

- ・会議の内容ではないが、この会議は地域にとって大変重要な会議であると認識しており、今後の会議開催については、委員、傍聴者も含め、多くの方が参加しやすいような日時を引き続き設定いただきたい。

【事務局】

- ・次回以降も参加しやすい日時での開催ができるよう配慮させていただく。

【会長】

- ・他に意見がなければこれでいったん区切らせていただく。
- ・この会議ではできるだけ多くの方の意見を頂き、その意見を事務局で丁寧に検討し、回答いただくことで、実りの多い会議としていきたいと考えているので、傍聴の方も含め、些細なことでも質問や意見があれば、お手元の「意見・提案・質問提出シート」に記入いただきたい。
- ・以上をもって、本日の議題は全部終了したので、進行を事務局にお返しする。

7 閉会